

# しろいし

shiroishi city council paper

# 市議会だより

2025年  
**秋**  
A U T U M N  
第219号

国立花山青少年自然の家  
南蔵王野宮場で開催された  
「第48回全国育樹祭お手入れ行事」



2～4P 9月定例会の概要・審議した議案  
4～7P 決算審査特別委員会  
7～11P 市政に対する一般質問(8名)

12P 政策提言書提出  
13P 議会の構成  
14P 人事・編集後記

## 議会を傍聴しませんか？

12月定例会は、12月9日(火)午前10時開会予定です。



インターネット中継



傍聴のしかた

# 9月定例会

## 令和6年度決算を認定 一般会計補正予算など20議案を承認・可決

令和7年9月定例会は、9月3日から9月25日までの23日間の日程で開催されました。

定例会初日、市長提出議案は、報告3件、人事1件、専決1件、令和6年度各会計決算の認定等3件、条例他8件、予算4件の計20件でした。全ての議案の提案理由の説明が行われ、このうち議案第48号および議案第49号は採決の結果、全会一致で同意・承認しました。

一般質問は、9月8日と9月9日の2日間で、8名の議員が質問を行いました。4日目(9月11日)、議案第50号から議案第64号までの質疑が行われ、令和6年度各会計決算の3議案は、決算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案は質疑の後、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。その他

定例会最終日(9月25日)の本会議において、決算審査特別委員会に審査が付託された令和6年度各会計決算(議案第50号から議案第52号)の3議案は、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決・認定しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

### 条例等

#### ◎白石市旧学校利用施設条例の一部を改正する条例

旧白川中学校に大学院大学が設置されることに伴い、旧学校施設として利用できなくなることから、条例の一部を改正するもの。

#### ◎白石市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例

令和2年4月1日に施行された地方自治法等の一部を改正する法律に基づき、市長や職員等の市に対する損害賠償責任について、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、賠償責任額を限定してそれ以上の額を免責する旨を条例で定めることが可能になったことから、軽過失

| 9月定例会で審議した議案 |  | 審議結果     |
|--------------|--|----------|
| 議案番号         | 件名   |          |
| 報告第5号        | 市長提案   | 報告       |
| 報告第6号        | 損害賠償額の決定及び和解について                                 | 報告       |
| 報告第7号        | 令和6年度白石市健全化判断比率及び資金不足比率について<br>私債権の放棄について        | 報告       |
| 議案第48号       | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて                      | 同意       |
| 議案第49号       | 専決処分承認を求めることについて(専決第11号)<br>(令和7年度白石市一般会計補正予算)   | 承認       |
| 議案第50号       | 令和6年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について                  | 認定       |
| 議案第51号       | 令和6年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定について | 原案可決及び認定 |
| 議案第52号       | 令和6年度白石市病院事業会計決算の認定について                          | 認定       |
| 議案第53号       | 東北本線白石駅構内こ線歩道橋補修工事協定書の変更について                     | 原案可決     |
| 議案第54号       | 財産の取得について  | 原案可決     |
| 議案第55号       | 財産の無償譲渡及び無償貸付について                                | 原案可決     |
| 議案第56号       | 白石市旧学校利用施設条例の一部を改正する条例                           | 原案可決     |
| 議案第57号       | 白石市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例                          | 原案可決     |
| 議案第58号       | 白石市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例                     | 原案可決     |
| 議案第59号       | 白石市障害者地域活動支援センター条例の一部を改正する条例                     | 原案可決     |
| 議案第60号       | 白石市道路線の廃止について                                    | 原案可決     |
| 議案第61号       | 令和7年度白石市一般会計補正予算(第3号)                            | 原案可決     |
| 議案第62号       | 令和7年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)                      | 原案可決     |
| 議案第63号       | 令和7年度白石市介護保険特別会計補正予算(第1号)                        | 原案可決     |
| 議案第64号       | 令和7年度白石市後期高齢医療特別会計補正予算(第1号)                      | 原案可決     |

における損害賠償責任の追及の見直しを行い、職員等が必要以上の心理的負担を受けず、公正に職務を執行することが可能となるよう、条例を制定するもの。

### 予算

◎令和7年度白石市一般会計補正予算(第3号)

4億6058万4千円を増額し、予算総額を199億1171万5千円とする。

○妊婦のための支援給付費

4500万円

○緊急自然災害防止対策事業

(土木費) 6200万円

○学びの多様化学校等管理運営費

11万1千円

【質疑】妊婦のための支援給付について事業の詳細は。

【答弁】妊娠期からの切れ目ない支援を行う観点から、子ども子育て支援法の妊婦のための支援給付を実施することにより、妊婦等の身体的、精神的ケアおよび経済的支援をしている。

対象者は申請時点で市内に住所を有する妊婦で、妊婦給付認

定(※)を受けた方になる。給付は2回あり、1回目は妊娠届出時に申請書を提出し、妊婦給付認定を受けることで5万円を支給し、2回目は出産予定日の8週間前の日以降に胎児数を届け出て、胎児1人あたり5万円を支給している。今回の支援は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までに、妊婦のための支援給付(1回目)の対象者に5万円を追加給付するものである。

【質疑】緊急自然災害防止対策事業(土木費)について、市道陣場ヶ丘4号線および市道鎌先街道線における法面対策工事の詳細は。

【答弁】これまでの大雨の影響等により倒木や法面の崩落が発生しているため、災害防止対策として「コンクリート吹付法枠工」による法面保護工を実施する。受注業者が決まり次第工程を協議し、地元自治会等とも相談しながら年度内完成を目標に実施する。

【質疑】白石きぼう学園「おしごと探検隊in白石」について、職業体験の目的は。

【答弁】学校内外での豊かな体験活動の機会を確保するため、児

童生徒の興味や関心に基づいた探究活動に取り組んでいる。本事業は保護者や地域住民、学識経験者などで構成する白石きぼう学園の学校運営協議会が中心となり企画した「社会との接点」を意識した職業体験イベントである。児童生徒が地域産業や仕事に直接触れ、職業体験を通して働くことの意義や楽しさ、そして地域への愛着を育むことを目的としている。



【※】妊婦給付認定とは？

妊婦のための支援給付を受ける資格を有することについての認定を申請し、その認定を受けること。

◎令和7年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

3756万2千円を増額し、予算総額を37億2406万円とする。

○子ども子育て支援事業関連

業務委託料

540万1千円

【質疑】子ども子育て支援事業に関連した業務委託料の支出について、制度的根拠と委託業務内容の詳細は。

【答弁】令和5年12月22日閣議決定した「こども未来戦略」において、総額3兆6000億円規模に及ぶ「こども子育て支援加速化プラン」が取りまとめられた。その後、子育て支援金制度の創設を含む「子ども子育て支援法等」の一部を改正する法律が令和6年6月5日に可決・成立し、児童手当の拡充をはじめとする抜本的な給付拡充の財源の一部に「子ども子育て支援金」が充てられることとなり、少子化対策の特定財源3兆6000億円のうち1兆円程度を確保することが見込まれている。子ども子育て支援金制度は全世代・全経済主体から医療保険料と併せて所得に応じて拠出することとされ、令和8年度から令和10年度にかけて段階的に導入される。

また国民健康保険税に支援金分が加算されることから、電算システムの改修が必要とな

るため、国民健康保険システムおよび収納管理システムの改修プログラムのパッケージ費用のほか、現行システムへの影響度調査や設定、管理作業にあたる人件費を計上している。なおシステム改修費用は子ども子育て支援事業費補助金として、国から全額措置されることとなっている。

### 決算

◎令和6年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

◎令和6年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定について

◎令和6年度白石市病院事業会計決算の認定について

### 総括質疑

◎令和6年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

**【質疑】**一般会計の実質単年度収支額が、2億7465万余円の赤字計上であるが、総括は。

**【答弁】**この赤字は令和5年度と比較すると、3億5692万4千円の減額となっており、歳出決算額の中には、公共施設の老朽化対策など、都市基盤整備に活用できる積立金である。都市整備基金の増額も含まれているので、将来への備えにも対応したうえで収支の状況が改善できた決算であったと理解している。

収支状況改善の主な要因は、市税やふるさと納税寄付金の増加によるものであり、これらが大きく伸びたということ、企業の業績の伸びや設備投資の増加、そしてシテイ・プロモーションの二環として本市や本市産品の魅力発信に継続的に取り組んできた成果だと考えている。

◎令和6年度白石市病院事業会計決算の認定について

**【質疑】**病院事業会計において、令和6年度より令和10年度までの期間で「公立刈田総合病院経営強化プラン」に取り組んでいるが、令和6年度の効果検証をどのように行なっているのか。

**【答弁】**医療関係者や福祉事業者等で組織する「公立刈田総合病院経営強化サービス評価委員会」を令和5年10月30日に設置しており「強化プラン」の点検・評価をこの委員会を実施し、結果については市のホームページで公表することとしている。令和6年度実績の点検・評価にかかる委員会については、本年11月に開催する予定としており、内容については「経営強化プラン」に掲げた指定管理者による管理・運営上の取り組みの状況や数値目標の達成度などを評価していただくことを考えている。

# 決算審査特別委員会

第50号議案・令和6年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定についてから第52号議案・令和6年度白石市病院事業会計決算の認定についての3議案は、定例会4日目（9月11日）の本会議において質疑が行われた後、議長および監査委員（四籠英夫）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。同委員会（委員長・伊藤勝美、副委員長・大内卓也）は、9月19日・22日の2日間わたり審査を行い、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決及び認定しました。審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

## 一般会計

### 総務費

◎白石市民バス運行管理事業・運行状況

**【質疑】**利用者が前年度と比較して増加した理由は。

**【答弁】**新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から5類感染症に移行したことにより、公共交通機関の使用が徐々に回復傾向にあったことに加え、令和6年4月から商業施設敷地内へまちなか循環便のバス停留

増やすなど、寄付受入環境の拡充による寄付者の利便性の向上を図るとともに、市内事業所の皆さまには、魅力ある地元特産品を返礼品として準備いただいていることから、本市の返礼品の認知度が向上したことによるものと考えている。

所を設置したことが要因であると捉えている。

**【質疑】**今後、利用者を増やしていくため、どのように取り組んでいくのか。

**【答弁】**「白石市地域公共交通計画」に基づき、市民の皆さまと地域のニーズにあった持続可能な公共交通ネットワークを構築していく。

◎ふるさと納税推進事業

**【質疑】**ふるさと納税寄付金が過去最高の8億8500万円となった主な要因は。

**【答弁】**寄付受入ポータルサイトを7サイトから12サイトに

また夏場を中心に猛暑が続いたことから、アイスクリームを返礼品とする寄付が好調であったことに加え、例年ふるさと納税の寄付が集中する11月および12月の駆け込み時期に各寄付受入ポータルサイトにおいて、本市のアイスクリームが常に上位にランキングされていたことも良い影響を及ぼし、過去最高の寄付額となる大きな要因になったものと考えている。

◎定住促進事業

**【質疑】**移住フェアへの参加により、U・I・ターンを検討している首都圏在住者に対し情報発信を行い、実際に移住に結びついたことがあるのか。

**【答弁】**移住フェア終了後には、各種イベントなどの案内を

令和6年度 一般会計・特別会計決算の状況

[単位：円]

| 会計名     | 歳入決算額          | 歳出決算額          | 差引額           |
|---------|----------------|----------------|---------------|
| 一般会計    | 19,262,275,078 | 18,623,898,945 | 638,376,133   |
| 特別会計    | 8,269,956,928  | 7,907,868,285  | 362,088,643   |
| 国民健康保険  | 3,571,634,817  | 3,507,172,100  | 64,462,717    |
| 介護保険    | 4,161,908,299  | 3,892,866,315  | 269,041,984   |
| 後期高齢者医療 | 536,413,812    | 507,829,870    | 28,583,942    |
| 合計      | 27,532,232,006 | 26,531,767,230 | 1,000,464,776 |

令和6年度 地方公営企業会計決算の状況

〔水道事業〕

(消費税及び地方消費税を含む) [単位：円]

| 項目    | 収入          | 支出          |
|-------|-------------|-------------|
| 収益的収支 | 930,303,946 | 793,823,797 |
| 資本的収支 | 326,320,964 | 548,100,928 |

〔下水道事業〕

(消費税及び地方消費税を含む) [単位：円]

| 項目    | 収入            | 支出          |
|-------|---------------|-------------|
| 収益的収支 | 1,059,713,412 | 984,705,026 |
| 資本的収支 | 536,311,520   | 804,403,342 |

〔病院事業〕

(消費税及び地方消費税を含む) [単位：円]

| 項目    | 収入          | 支出          |
|-------|-------------|-------------|
| 収益的収支 | 727,365,837 | 732,516,794 |
| 資本的収支 | 500,711,000 | 768,312,256 |

民生費

◎生活保護事業

して白石とのつながりを保ち続ける工夫をし、令和6年度は2名の移住フェア参加者が本市への移住につながった実績がある。

〔質疑〕今後、定住促進事業にどのような取り組みでいくのか。

〔答弁〕定住者補助金申請者向けのアンケートにおける「定住先として白石市を選んだ理由は何か」の設問において「土地、家屋で手ごろな物件があった」という回答が多くなった。このような定住者のニーズを踏まえた取り組みを展開するため、家屋敷課税対象者の一部に空き家バンクの周知をすることを新たな取り組みとして検討している。

〔答弁〕令和6年度の訪問件数は、生活保護世帯については延べ846件、生活困窮者については延べ55件となっており、

衛生費

◎各種健診事業

〔質疑〕事業の成果として「健康の保持増進が図られた」としているが、どのようなデータや指標により確認しているのか。

〔答弁〕がん検診を始め、各種検診事業については、過去の受診率や精密検査受診率などを指標としている。対象者数から見た受診率は30%前後と多くはないが、検診の申し込みをした方が受診した割合は、半数を上回っている状況である。

〔質疑〕本市における当該事業に関わるケースワーカーと相談支援員の人数は。

〔答弁〕ケースワーカーは3人、相談支援員および就労支援員が各1人の体制となっている。

農林水産業費

◎農産物等販売施設運営事業

〔質疑〕市が実施する農産物等の販路拡大事業が、生産者の所得向上にどの程度寄与し、手数料や集客面など具体的なメリットがあるのか。

〔答弁〕おもしろいし市場は平成31年4月にオープンした施設で、順調に売上が増加し、令和6年度の農産物の売上は約9700万円となった。出荷先をどこにするかの判断は生産者自身となり、施設整備により生産者の所得向上に寄与しているものと考えている。

また生産者の維持・拡大やさらなる生産者の所得向上については、指定管理者自身が青果市場や他の類似施設の動向などを踏まえて取り組んでいるものと認識している。

商工費

◎消費者行政事業

〔質疑〕消費生活相談の相談内容は、被害発生前や被害発生後の相談と思われるが、どのような状況になっているのか。

〔答弁〕消費生活相談は被害

発生後の相談が多い状況である。令和6年度で最も多い内容は定期購入に関する相談で、1回だけ購入したつもりが2回目以降の商品が届き、定期購入の契約となっていたという内容や、事業者に解約の連絡をしても電話が全くつながらないといった内容である。

また副業詐欺や投資詐欺にあったのではないかとといった内容など、SNSやインターネット上の広告からトラブルに発展した相談が増加している。

## 土木費

### ◎道の駅整備事業

【質疑】モニタリング支援業務693万円の業務内容は。

【答弁】道の駅整備事業はPF事業者「しろいしグロウパーク」と締結した事業契約書や募集要項、要求水準に基づき実施している。本業務は「しろいしグロウパーク」が実施する設計業務、建設業務が適切に履行されているか、市側の立場として技術的な支援等を行う業務である。

## 教育費

### ◎幼保小架け橋プログラム事業

【質疑】事業の主旨に「全ての子どもに学びや生活の基盤を育むことを目指す」とあるが、具体的にどのような学びや生活の基盤が育まれたのか、成果を示す数値や事例とその評価方法は。

【答弁】目指す子どもの姿を「生活をつなぐ」「人をつなぐ」「学びをつなぐ」の3つの視点で整理し、多くのことに興味関心を持ち学習に積極的に取り組もうとする力や、あきらめずにやり遂げようとしたりする力を育むことを大切にしている。成果として「小学校を意識し、自分でやってみよう、やってみたい」と進んで活動に取り組むようになった」などの声が聞かれ、幼児や児童が、遊びや生活に対して、これまでより意欲的に取り組む姿勢や、これまでの経験を生かし学習に取り組む姿が見られた。

評価としては、保育者や小学校教員にアンケートを実施し、実践の成果や課題を調査し分析した。また有識者や学校、園の代表者、担当者が集まり会議を開き、カリキュラムや効果的な連携、実践の課題について確認をし、保育・教育活動の改善に生かした。

### ◎学びの多様化学校管理運営事業

【質疑】白石きぼう学園が、児童生徒にとって居場所であり、学びの場となっているなど多くの成果が見られるが、課題としてはどのようなことがあるか。

【答弁】本校の児童生徒数が開校当初の約2倍以上に増加しており、在籍人数が10人を超す学級がある。白石きぼう学園に通う子どもたちは不登校の経験があることから、よりきめ細やかな指導支援が必要であると考えているが、果たしてこの人数でできるのかという疑問を感じており、大きな課題があると考えている。そのた

め、学びの多様化学校において、1学級あたりの児童生徒数を10人程度とし、きめ細やかな指導支援を実現できるよう、さまざまな機会を通じて国に対して要望している。

## 特別会計

### 国民健康保険事業

【質疑】健康づくり推進事業の主な事業と実績内容、成果は。

【答弁】主な事業として、若年者向けの基本健康診査業務や人間ドック費用助成事業がある。

国民健康保険被保険者の40歳から74歳になる方を対象に、公立刈田総合病院での人間ドック受診費用について助成を行い、住民の健康保持増進を図り、健康寿命の延伸と医療費の適正化につなげることを目的とし、令和6年度実績値で186人が受診している。

【質疑】事業主旨の「国民健康保険の健全な運営」とはどのような状態を指すのか。

【答弁】誰もが安心して医療を受けられるように、国民健康保険の制度を持続可能な状態で、適切かつ公平に運営され、自立して健康的に生活期間を延ばす「健康寿命の延伸」、その結果として不必要な医療の利用を抑えたりすること等で医療費を抑える「医療費の適正化」が達成されている状態を指すと考えている。これは、国における「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)」に掲げられており、本市の第3期データヘルス計画にも位置付けている。

### 介護保険事業

【質疑】高齢者権利擁護に関する相談件数が令和5年度は830件であったのに対し、令和6年度は1400件と大幅に増加した要因は。

【答弁】本市における独り暮らしもしくは二人暮らしの高齢者は増加傾向にあり、身の回りの管理において支援を必要とすることが多く、地域包括支援センターで取り扱う権利擁護に関する相談を押し上げている。また、権利擁護に関する相談は、解決までに時間を要するため、何度も相談を受ける必要がある。本市の地域包括支援センターにおいては社会福祉士を増員し、訪問相談の回数も増え、高齢者の見守りをさらにきめ細やかにできるようになった。

【質疑】高齢者権利擁護に関する相談内容において、成年後見について特に増

加している。制度利用までつながった支援の件数と制度利用までつながらなかった事案の最大の理由は。

【答弁】成年後見制度には、親族による申し立てや、判断能力があるうちに行う、任意後見契約などもあるが、市で把握できているのは、行政が親族の代わりに申し立てを行う市長申し立てである。市長申し立てについては平成22年度から令和6年度までの期間で26件の相談があり、そのうち18件については後見人が選任され、残りの8件については、後見人の選任まで進まずに中断・取り下げとなった。

また申し立てとならなかった理由としては、親族から取り下げの申し出や申し立ての準備途中に本人が亡くなることがあった。

### 水道事業

【質疑】『令和6年度衛星を活用した水道管路の漏水調査業務』の業務内容の詳細は。

【答弁】本調査は令和6年度に宮城県内11事業体および福島県1事業体を含む12事業体において共同で取り組みを進めてきた。調査方法は人工衛星から得た漏水可能性箇所のデータを水道管路図に重ね分析し、半径100メートルの範囲内に漏水箇所を絞り込む。本市水道給水区域内を調査範囲とした結果、半径100メートルの範囲で87エリアにおいて漏水の可能性があると示された。各工事への運用は、令和6年度と令和7年度の路面音聴調査で確認された漏水箇所の分析を行い、今後計画している老朽管更新工事の優先順位の選定する際の資料として使用する予定である。

# 市政に 対する 一般質問

## 〳〳〳8名の議員が質問〳〳〳

9月定例会の一般質問は、9月8日・9日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

※二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

**大内 卓也** 大学院大学設置について

**佐久間儀郎** クマの出没と鳥獣保護管理法の改正について

**佐藤 龍彦** エアコンの購入費用の補助について

**角張 大治** 国のコメ政策転換と白石市の工業団地計画について

**大森 貴之** 防災減災対策の拡充について

**四竈 英夫** スパシユランドパークの今後について

**高子 秀明** 本市職員の職場環境整備とメンタルヘルス支援について

**村上 由紀** 地区公民館職員の待遇改善について

### 大学院大学設置について

大内 卓也



**〔質問〕**大学院大学設置支援室の具体的な役割と業務内容を伺う。

**〔答弁〕**〔総務部長〕設立予定法人との各種調整、市内外の関係機関や市役所内部の関係部署との調整役、課題の整理、開校後の各種連携に向けた検討などを行なっている。

**〔質問〕**設置の進捗状況について伺う。

**〔答弁〕**〔市長〕寄付金の手続きや文部科学省認可申請に向けた事前相談、申請書類の作成、学生需要・人材需要に関するアンケート調査。市内企業向けアンケート、旧白川中学校の土地と建物の財産に関する協議

の調整を行なった。準備

会は、文部科学省への申請に向けて、先生方の確保、授業計画や授業科目、教育課程などの最終調整の段階である。

**〔質問〕**地域イベントに対して、どのような調整を行なっていくのか伺う。

**〔答弁〕**〔企画政策課長〕「地域との連携方針」を掲げているので、地域イベントなどに対しては地元の要望を踏まえ、市も間に入り法人側と調整していく。

**〔質問〕**各種団体も引き続き、施設を利用していくことができるのか伺う。

**〔答弁〕**〔企画政策課長〕令和8年度に校舎の改修工事などが想定される。団体に対しては状況を丁寧に説明し、他の学校施設での利用調整

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

を行うなど、教育委員会とも連携しながら進めていきたい。

**〔質問〕**工事期間中と設置後の指定避難所について伺う。

**〔答弁〕**〔危機管理課長〕工事内容などを確認し、地元自治会および自主防災組織の皆さまと調整していきたい。

**〔質問〕**市内企業や団体との連携について伺う。

**〔答弁〕**〔市長〕白石市全体に大学院大学の設置効果を波及させていくために、市内企業や事業所各種団体に対して、大学院大学との連携協力を働きかけていく。準備法人と白石市がお互いの利点を生かしながら、人材育成や教育振興、地方創生に関する連携協定を締結したいと考えており、準備法人と協議を進めている。

さらに、白石商工会議所も含めた三者間での連携協定の締結に了承をいただいたところである。

### クマの出没と鳥獣保護管理法の改正について

佐久間 儀郎



**〔質問〕**鳥獣保護管理法（鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律）が改正され9月1日に施行された。特色はクマ、イノシシが局所的に人の生活圏に出没した際、市町村長の判断で猟銃駆除を可能とする緊急銃猟制度を創設したことである。平時から体制整備が必要であるが、マニュアル、フロー等の対応状況を伺う。

**〔答弁〕**〔市民経済部長〕マニュアルの作成には、人の日常生活圏への出没に円滑な対応ができるように「必要な人員・

関係者の協力体制の確保」「机上および実施訓練・研修等の実施」「備品の確保」「保険の加入」など対応フローをまとめ、緊急時に捕獲関係者がすぐに参照できるように準備を行うことが推奨されている。宮城県では「宮城県有害鳥獣捕獲許可事務取扱要領」に盛り込むことや、クマ出没対応訓練実施等の検討が行われている。宮城県や関係機関と連携を図り、対応マニュアルの整備と人員確保などに努めていきたい。

**〔質問〕**国は捕獲に偏らない対策を重点に進めていると考えているが、本市の基本姿勢・対策を伺う。

**〔答弁〕**〔市民経済部長〕

関係省庁が連携して総合的な施策を講ずる「クマ被害対策施策パッケージ」がまとめられた。緊急銃猟に安易に頼ることは適切ではなく、長期的な視点に立った総合的な対策を講ずるべきという考えで、本市も同様の考えである。

**〔質問〕**人とクマの棲み分け、共存を目指すべく行政の啓発活動が重要と考えるが、市長の見解を伺う。

**〔答弁〕**〔市長〕毎年、広報誌やチラシで被害防除対策に関する情報発信や研修会の開催なども行なっており、国や県において、多岐にわたる情報が公表されていることから、これらを踏まえた啓発活動に努めていきたい。

### その他の質問

◎成年後見制度の充実について

エアコンの購入費用の補助について

佐藤 龍彦



〔質問〕近年の「夏の暑さ」についての認識を伺う。

〔答弁〕〔市長〕近年、地球温暖化による気候変動の影響により、各地で記録的な高温や干ばつ、集中豪雨などの異常気象が多発している。本市においても、本年7月29日に観測史上2番目となる最高気温36.7度を記録し、7月21日から29日まで、9日間連続の猛暑日となるなど、記録的な暑さとなった。今後、地球温暖化がさらに進行すると、夏の猛暑や集中豪雨などがさらに激しくなると予想されている。本市としても暑

さによる健康被害のほか、線状降水帯やゲリラ豪雨の発生に伴う河川の氾濫、土砂災害や家屋の浸水、高温や渇水による農作物の被害など、さまざまな影響があるものと懸念している。

〔質問〕夏の暑さ対策や省エネ対策のため、全国各地でエアコンの購入費用の補助がされていることについての認識を伺う。

〔答弁〕〔市長〕近年、熱中症対策として、高齢者や障害者への購入等の費用について、補助が行なっている自治体がある。また、東京都のエアコン購入費用の補助についても、省エネを目的とした補助制度を高齢者や障害者の熱中症対策として活用し、補助額を引き上げた内容で

あるものと認識している。

〔質問〕本市もエアコンの購入費用の補助を実施することはできないか伺う。

〔答弁〕〔市長〕現時点で市の窓口にて、高齢者などから、エアコンの購入補助に関する相談を直接受けた実績はない。また高齢者によっては、自宅にエアコンを設置していても使用していない方も多く、購入の補助ではなく熱中症対策として、適切な使用を促す取り組みが必要であると考

えている。今後は、これまで実施しているクーリングシエルトの設置や熱中症警戒アラートの発表のお知らせなども併せて、適切なエアコンの使用など熱中症予防対策の周知強化に努めていく。

【その他の質問】

◎中央公民館のインターネット予約について

〔質問〕国が米の増産に舵を切る中、本市の工業団地計画をどう位置付け、どのように整合性を図るのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕工業団地整備を見直す必要はないと考える。生産者には代替地の確保に向けて情報提供など丁寧に対応していきたい。

〔質問〕工業団地造成による農地消失が、食料安全保障や地域の農業振興に与える影響をどう捉えているか。

〔答弁〕〔市長〕農業振興には、工業団地整備に関わらず、担い手の事業継続・確保・育成が不可欠である。

国のコメ政策転換と白石市の工業団地計画について

角張 大治



〔質問〕停止条件付土地売買契約を結んでいる地権者数、借地農家数、農地面積を伺う。

〔答弁〕〔都市創造課長〕地権者数96人、借地農家数13人、農地面積24万1984平米。

〔質問〕契約期間(10年)内に企業誘致が実現しなかった場合の見解を伺う。

〔答弁〕〔都市創造課長〕契約更新を考えている。

〔質問〕計画変更時の契約効力や地権者への影響について、市の見解を伺う。

〔答弁〕〔都市創造課長〕企業募集の停止など、計画変更の考えはない。契約書にも契約期間内の解除に関する事項はなく、契約解除は考えていない。

〔質問〕経済的地域振興

効果における雇用創出や税収増など財政効果の試算を伺う。

〔答弁〕〔市長〕企業誘致と整備が完了した段階で判断できるものだが、本市経済に大きく寄与すると考える。

〔質問〕工業団地化と農地保全をどのように位置付けているのか、その理念・根拠・試算の有無を確認する。

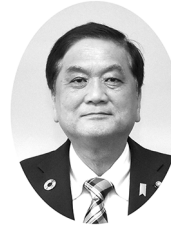
〔答弁〕〔市長〕第六次白石市総合計画の重点戦略として「輝く未来地戦略」を掲げ、持続可能なまちになるよう企業誘致や道の駅での販路拡大で市民所得の向上を図る。

〔質問〕ビジョンの検証・評価方法を伺う。

〔答弁〕〔市長〕総合計画・総合戦略推進委員会や地区懇談会、オンラインによるミーティングなどを通じ、市民の皆さまから検証・評価をいただいていると認識している。

防災減災対策の拡充について

大森 貴之



恐れがあり閉鎖する。そのため避難者は他の指定避難所に移動していただく。

【質問】近年世界的気候変動に伴う異常気象等により風水害が頻発、加えて地震大国である日本においては、いついかなるときに地震災害に見舞われるか分からない。地震災害発生時に伴う避難所生活中に風水害の危険が生じた際、風水害時には本来開所されていらない力所に、地震被害で退避しておられる方々への対応を伺う。

【質問】5施設の移動先に受け入れ計画があるのか伺う。

【回答】【危機管理課長】それぞれ白石第二小学校、中央公民館、越河小学校、大平小学校、福岡小学校に移動していた。【質問】避難所間の移動が必要となった場合の移動方法を伺う。

【回答】【市長】各自避難が原則となるが、急激な大雨などにより移動が困難な場合には、消防署や消防団、自衛隊などに移動や避難誘導の支援をいただきたいと考えている。

【回答】【危機管理課長】白石中学校、スポーツセンター、越河公民館、大平公民館、福岡中学校の5施設は、浸水などの

【質問】避難所生活で最

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

も苦勞するのがトイレ問題で、避難者数に対応できるトイレの数があるのか伺う。

【回答】【危機管理課長】東日本大震災の経験からトイレ数の確保に努めており、自動排せつ処理トランク型ポータブルトイレを各指定避難所などに1セットずつ配備することになっている。

【質問】線状降水帯の発生等により、用水路や覆蓋のない側溝において境界線が不明となり転落等の事故が発生している。氾濫水発生時でも境界線が判断できる標識を常設できないのか伺う。

【回答】【市長】すべてに標識を設置することは困難だが、転落の恐れがあり必要と思われる箇所には設置を検討していきたい。

スパッシュランドパークの今後について

四電 英夫



【質問】スパッシュランドパークは平成8年に開園し、ピンクのシバザクラが三面に咲き乱れ小原の観光名所となっていたが、現在では見られなくなった。今後の見通しについて伺う。

シバザクラにこだわらず、ピンクの花が咲く宿根フロックスに順次植え替えを予定している。

【質問】今後の対応について伺う。

【回答】【都市創造課長】管理を委託している小原地域活性化推進協議会や本市のフラワーディレクターと相談して検討していく。

◎教育現場における不適切行為への対応について

【質問】教育現場での教師による盗撮や不適切行為が報じられたが、大きな驚きと非常に残念な気持ちである。本市には当然発生していないことではあるが、教育委員会としてどのような対策を取られたか伺う。

【回答】【教育長】このような行為は児童生徒の尊厳と権利を著しく侵害し、心身に重大な影響を与えるものであり決してあってはならないものである。子どもたちに誠実に向き合っている教師、さらには学校教育全体の信用を失墜させるものであり、許されないものであると認識している。

【質問】教育委員会の対応を伺う。

【回答】【教育長】毎月の校長・教頭会議で、県作成のリーフレット等を活用し、服務規律の確保に取り組むよう指導している。各学校においても職員会議や研修会で、服務規律確保と不適切行為の未然防止に努めている。

【質問】学校側の受け止め方を伺う。

【回答】【教育専門監】同じ教職員として強い憤りを感じている。教職員の意識向上に向け、服務規律の研修会を開き指導していくとの報告を受けている。

本市職員の職場環境整備とメンタルヘルス支援について

高子 秀明



〔質問〕休日勤務や時間外労働に関しては、部局によっては大幅な差があるものと察するが、いわゆるサービス残業や代休振休未消化等が無いよう、どのような管理体制を構築しているか伺う。

〔答弁〕〔総務課長〕昨年度まで時間外勤務や休日勤務を含めた職員の勤怠管理は、集計も含めすべて紙により行なっていたが、今年度から庶務事務システム、人事給与システムを導入した。これにより時間外勤務や休日勤務の申請・実績についても、システ

ムにおいて入力・決裁を行なっている。時間外勤務申請は原則事前申請とし、所属ごとに申請の声掛けを行い、職員の入

力状況については定期的に各所属の庶務担当が退勤時間と実績時間の差異等のエラーチェックを行い、エラーについてはその都度各所属で内容を確認し、必要に応じて修正をする体制をとっている。システムを導入しデジタル化されたことにより、職員の勤務状況が随時確認できることに加え、退勤時間の遅い職員への声かけ等、健康管理にも活用できるなど、これまで以上に管理体制を整えることができた。

〔質問〕市民との信頼関係再構築と市民サー

ビス向上の取り組みにおいて、早期に実現することの困難さは承知している。双方を実現するにあたり、市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕市役所の業務は市民の皆さまからの信頼の上に成り立っているものであり、職員一人一人が法令遵守の徹底と高い倫理観を持ち、我々は税金を使わせていただいで仕事をしているという意識を持ち続け、日々のこの業務に対し真摯に向き合い取り組みを続けていくことが、信頼回復ひいては市民サービスの向上につながるものと考えている。今回の官製談合事件で失われた市民の皆さまからの信頼を取り戻し、これまで以上に信頼される白石市役所となるよう、我々職員一同全力で取り組んでいく。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

地区公民館職員の待遇改善について

村上 由紀



〔質問〕現在の業務量についての見解を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕施設の維持管理、利用許可業務、社会教育法第22条の事業、当初と比較して「第6次白石市総合計画」における地域のまちづくりに関する業務の増加を認識している。人員体制について要望書をいただいていることもあり、私から市当局に検討を要請している。

〔質問〕給料制度について、賃金スライド制度導入の見解を伺う。

〔答弁〕〔副市長〕物価高騰、最低賃金の上昇等の状態が継続しており、相対的に給与水準の低下を認識している。職員は、地域や地区のために熱心に業務に邁進され、

この状態が続けば業務履行の質の低下も招きかねないと危惧し検討を始めている。

◎まちづくり連合会からの要望書について

〔質問〕地区公民館の役割の認識と今後期待すること伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕生涯学習の場、地域活動「コミュニティ、防災の拠点」として重要な役割を果たしている。人口減少、少子高齢化等社会変化に対応できる地域づくりがますます重要になると捉えており、各地区の方々が主体的に行うことが、持続可能な地域づくりには欠かせないと考える。地区公民館は引き続き、各まちづくり協議会に運営をお願ひし、行政と連携協力しながら、協働のまちづくりを推進していく。

〔質問〕3回目の要望書の検討内容を伺う。

〔答弁〕〔市長〕事務局を1.5人から2人体制への見直しの要望書をいただいている。地区公民館に求められている期待は大きく、まさに地域の要である。令和8年度から実施できないか、個別の課題などご意見を伺いながら検討を進めている。

〔質問〕地区公民館の今後のあり方について見解を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕皆さまには地域づくり、地域課題解決に努力していただいていることに敬意を表したい。公民館は地域の拠点であり、社会教育施設として重要である。しかし、近年過去とは違った課題への対応が求められ、より一層地域の特性を生かした有り様が求められていることを認識している。国の動向を注視するとともに、地域の皆さまのご意見を十分伺いながら、検討していかなくてはならないと考えている。

## 市長へ政策提言書を提出しました

白石市議会では、昨年7月に各常任委員会で行政視察を実施しました。その視察における先進自治体の事業を参考に本市の事業に取り入れるため、視察後その成果と検証を行い、本年9月22日(月)に山田市長宛て「政策提言書」をそれぞれ提出しました。

政策提言書の内容は次のとおりです。

### ◎総務産業建設常任委員会

**提言内容：**鳥獣被害対策について

**参考事例：**長野県大町市

**提案内容：**鳥獣被害は農業従事者のみならず、住居・自家用車等に対する住環境被害が発生しています。さらに全国的には「クマ」による人的被害が報道されております。市民の生命・財産を守るためにも、鳥獣被害対策専門部署を設置しさらなる協力体制を構築すること、捕獲用大型檻を所持することが望まれます。

**事業効果：**鳥獣被害対策専門部署を設置し複数名の担当者を選任することや、自治会等と連携することで、鳥獣被害防止対策の成果が上がり、市民の協力意欲が向上し、被害を減少させることができます。

### ◎厚生文教常任委員会

**提言内容：**祖父母手帳及び孫育て講座について

**参考事例：**山形県天童市

**提案内容：**祖父母世代が育児をしていた時代に比べ育児方法が大きく変化している中で、祖父母が知っておくべき現在の子育ての常識や、父母との円滑な関係を構築する付き合い方など「子育て」のヒントが祖父母手帳に掲載されています。祖父母手帳を教科書に祖父母がストレスをため込むことなく、未来ある孫を健やかに育むため、時代に合った育児の方法や考え方や家庭内での意見の交わし合い方、無理なく孫と遊ぶ方法を学びます。

**事業効果：**育児の方法や考え方が時代とともに変化する中「手帳」を通じて、子育て中の父母世代と祖父母世代がお互いに育児についての理解を深め、世代間のギャップを埋めることができ、共に楽しく育児に向き合うきっかけになります。講座でも子育て支援の情報提供、現役保健師と直接相談等ができ、コミュニケーションの場を築くことで祖父母同士の不安解消ができ、祖父母の社会参画を促し生きがいの創出につながります。



政策提言書提出の様子 (左：総務産業建設常任委員会 右：厚生文教常任委員会)



# 議会の構成

常任委員会などの委員の任期満了に伴い、9月定例会の本会議において委員が選任され、その後、委員長・副委員長の互選が行われました。

各委員会などの名称、活動事項および委員は次のとおりです。

## 議会運営委員会 (7名)

- 議会の運営、会議規則および委員会条例などに関することについて、審査や調査をします。
- 委員長 大森 貴之
  - 副委員長 大内 卓也
  - 委員 伊藤 勝美
  - 委員 伊藤 政義
  - 委員 伊藤 政義
  - 委員 伊藤 政義
  - 委員 伊藤 政義

## 厚生文教常任委員会 (8名)

- 社会福祉、保健衛生、教育および生涯学習などに関することについて、審査や調査をします。
- 委員長 角 張一郎
  - 副委員長 高子 秀明
  - 委員 佐藤 龍彦
  - 委員 佐藤 龍彦
  - 委員 佐藤 龍彦
  - 委員 佐藤 龍彦
  - 委員 佐藤 龍彦
  - 委員 佐藤 龍彦

## 議会広報委員会 (8名)

- 1 市議会だよりの編集および発行に関すること
  - 2 市議会ホームページの運営に関すること
  - 3 その他議会の広報に関すること
- 委員長 四電 英夫
  - 副委員長 村上 由紀
  - 委員 佐藤 龍彦
  - 委員 高子 秀明
  - 委員 大森 貴之
  - 委員 角 張大治
  - 委員 佐久間 順子
  - 委員 大内 卓也

## 議会改革推進会議 (8名以内)

- 1 議会のあり方に関すること
  - 2 議会改革が必要な諸課題に関すること
- 委員長 佐久間 儀郎
  - 副委員長 大森 貴之
  - 委員 佐藤 龍彦
  - 委員 高子 秀明
  - 委員 伊藤 勝美
  - 委員 佐久間 順子
  - 委員 大内 卓也
  - 委員 角 張一郎

## 総務産業建設常任委員会 (8名)

総合計画、財政、市税、生活環境、農業、商工業および観光などに関することについて、審査や調査をします。

- 委員長 角 張一郎
- 副委員長 高子 秀明
- 委員 佐藤 龍彦
- 委員 佐藤 龍彦
- 委員 佐藤 龍彦
- 委員 佐藤 龍彦
- 委員 佐藤 龍彦
- 委員 佐藤 龍彦

## 政策企画調整会議 (8名)

- 1 市民意見などを政策立案や提言とするための対応方針に関すること
  - 2 市民との意見交換会および一般会議に関すること
- 委員長 佐久間 儀郎
  - 副委員長 大森 貴之
  - 委員 佐藤 龍彦
  - 委員 高子 秀明
  - 委員 伊藤 勝美
  - 委員 佐久間 順子
  - 委員 大内 卓也
  - 委員 角 張一郎

人 事

9月定例会において、次のとおり推薦することに同意しました。

〔入権擁護委員〕

〔任期〕令和8年1月1日～

令和10年12月31日）

- 半沢道彦氏
- 齋藤千代人氏



白石市議会会議録を公開しています

白石市議会 会議録

検索

市議会のホームページに会議録を公開しております。

キーワードでの検索のほか、会議・発言者・期間でも検索できます。

議会を傍聴してみませんか？

12月定例会は、12月9日(火) 午前10:00開会予定です

氏名・住所の記入など、簡単な手続きで傍聴ができます。

また、会議の様子は「インターネット中継」や「録画配信」を行なっております。

ぜひ、スマートフォンやパソコンなどでご覧ください。

<9月定例会>

- 傍聴者のべ人数 27人
- ライブ配信視聴回数 628回
- 録画視聴回数 561回



インターネット中継



傍聴のしかた

※録画配信は、映像の編集を行うため、ライブ配信終了後 おおむね5日後(土日・祝日を除く)からご覧いただけます。

白石市議会ホームページの

「白石市議会インターネット中継」をクリック



編集後記

ものごとを見るときは三つの眼で見るといいと聞いたことがありますが。一つは「鳥の眼」高い所から全体を見渡す俯瞰（ふかん）する眼。一つは「虫の目」細かいところを詳しく見る眼。一つは「魚の眼」水の流れを読むように水はどちらからどのように流れているのかを見る眼。議会報をご覧いただき、議会ではどのような条例や予算が議決されたのかという全体を知っていただく鳥の眼。文章の誤字脱字数字の誤り等を細かく見る虫の眼。白石市はどちらの方向に進もうとしているのかを判断する魚の眼。こうした観点でご覧いただければ幸いです。今後ともご愛読をお願いいたします。

議会広報委員会

- 委員長 四電 英夫

議会広報委員会 委員

- 委員長 四電 英夫
- 副委員長 村上 由紀
- 委員 佐藤 龍彦
- 委員 高子 秀明
- 委員 大森 貴之
- 委員 角張 大治
- 委員 佐久間 順子
- 委員 大内 卓也